

淑徳大学 大学院

総合福祉研究科

graduate school of integrated human and social welfare studies

社会福祉学専攻 博士前期課程

心理学専攻 修士課程

社会福祉学専攻 博士後期課程

淑徳大学大学院 総合福祉研究科について



総合福祉研究科長 米村 美奈 教授

淑徳大学大学院総合福祉研究科は、「社会福祉学専攻」と「心理学専攻」の2つの専攻となっています。社会福祉・心理臨床などさまざまな実践現場を担う専門職業人の養成、研究者・教育者の養成を目指しています。ぜひ、大学院で学び、研究を深めてみてはいかがでしょうか。

社会福祉学専攻（博士前期課程）

社会福祉学専攻では、4つのコースがあります。①ソーシャルワーク、②政策・経営、③保育・療育、④仏教福祉・国際福祉。幅広い福祉分野で研究できるカリキュラム編成となっておりますので、それぞれの研究分野で研究を深めていくことができます。

社会福祉学専攻主任
結城 康博 教授



臨床発達心理士

心理士というと、心理学分野を専門に学んだ人が対象というイメージがありますが、臨床発達心理士は、心理学系の学部・大学院に限定せず、保育学や教育学、社会福祉学といった隣接分野からの挑戦も強く推奨しています。つまり、学部で積み重ねてきた福祉、保育、教育に関する学も大いに活かすことができる資格ということです。

臨床発達心理士になるためには、指定科目の学びに加えて臨床発達支援の現場「臨床実習」が合計200時間義務付けられています。本学ではこの臨床実習を学内にある「淑徳大学発達臨床研究センター」で行うことができます（療育実践実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）。

臨床発達心理士の指定科目認定を受けている大学院の中で、学内の発達障害専門施設で臨床実習を行うことのできる大学院は極めて少数です。200時間の臨床実習を学内研究施設で行うことができる—この点が本大学院の特徴です。



心理学専攻

心理学専攻主任
神 信人 教授

心理学専攻は、心理的支援のための知識・技能を実践できる高度専門職の養成を行っています。国家資格である公認心理師と高度専門職の臨床心理士の養成課程があり、心理的問題の背景・展望に関するアセスメント力と、クライアントとともにあって確実に支え、地域との連携に活躍できる臨床能力を身につけられます。

1. 臨床実践教育

心理学専攻の教育課程は、公認心理師と臨床心理士の2つの資格が取得できるように心理学科目、臨床心理学科目が幅広く配置されています。さらに、本学大学院教育の伝統である臨床発達系の科目も用意されています。

充実した実習教育も特徴です。実習内容は、学内実習、学内施設での実践実習、学外施設の見学実習、学外施設の実践実習等があり、実習科目は12科目配置されています。実習施設も多岐にわたります。学内施設としては心理臨床センター、発達臨床研究センターが、学外施設としては精神科病院、総合病院、県立教育相談機関、公立中学校、児童養護施設、乳児院、特別養護老人ホーム等があり、希望領域の実習先で臨床実践を学ぶことができます。

2. 研究実践教育

心理的援助の知識や技能は日々発展しています。専門職としてそれに対応できるように、研究実践教育も重視しています。心理学専攻には、量的研究を主たる研究方法とする教員から、質的研究の高い専門性を持つ教員まで幅広くいます。自分のテーマに適した研究方法についてのアドバイスを、それを専門とする教員から受けることができます。

公認心理師

臨床心理士

心理学専攻カリキュラムの特徴

実習 12 科目

臨床心理基礎実習Ⅰ	心理実践実習Ⅳ
臨床心理基礎実習Ⅱ	臨床心理実習Ⅰ (心理実践実習Ⅴ)
臨床心理基礎実習Ⅲ	臨床心理実習Ⅱ (心理実践実習Ⅵ)
臨床心理基礎実習Ⅳ	臨床心理実習Ⅲ
心理実践実習Ⅰ	臨床心理実習Ⅳ
心理実践実習Ⅱ	
心理実践実習Ⅲ	

学内センター実習
(心理臨床・
発達臨床)

学外実習

社会福祉学専攻（博士後期課程）

博士後期課程においては、社会福祉学と関連付けながら心理学、保健・看護学、社会学などといった隣接する学問領域を視野にいれながら高度な研究を目指します。高度な研究能力を備えた人材養成はもちろんのこと、より高度な臨床における専門職の育成を教育研究目標としています。そして、最終的には社会福祉学博士の学位取得を目指すこととしています。

主な博士後期課程科目

- 「社会福祉学原論」：これまでの福祉学研究者の「福祉学」定義を確認しながら、「福祉学」とは何かを学んでいくことを目的とする。
- 「社会福祉研究方法」：混合研究法を含む量的研究や質的研究の基本的な考え方や研究方法について理解することを目指し、履修者個々人の研究課題における研究を深めていく。
- 「社会福祉特別研究Ⅰ」：ソーシャルワーク（ミクロ・メゾ・マクロ）の介入レベルとそれに応じた保健・医療・福祉の関係性、連携について具体的な実践事例から理解を深める。
- 「社会福祉特別研究Ⅱ」：臨床心理学における研究知見、実践上の基本的視点を素材として提供し、対人援助実践について議論していくものである。

近年、博士号を取得した学位論文

三村千春「食の『制御』と『幸福感』に関する研究 ―食におけるポジティブな側面に着目して―」（博士：社会福祉学）

論文博士を目指す研究生コース

淑徳大学大学院では、社会福祉学博士の学位を取得するルートとして課程博士と共に、論文博士というプロセスもあります。そこで論文博士の提出を支援する研究生コースを設けています。論文博士をめざすため、1年程度研究生として指導教授に指導を仰ぎながら研究を重ね論文博士を目指すものです。現職の大学教員、博士課程満期退学者などを対象に論文博士を目指す研究生コースです。

出願 FAQ

主に社会福祉学専攻についての案内となっています

大学院について、頻繁にいただく質問・ご相談をまとめています。詳細については、本学事務局にお問い合わせください。

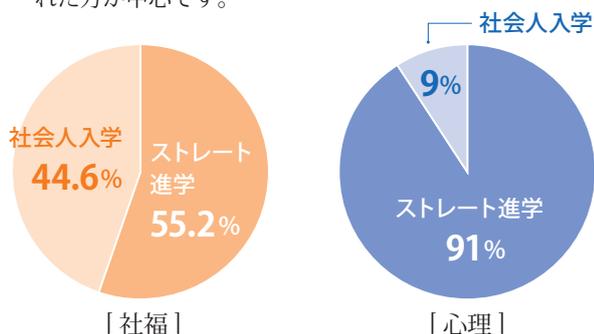
千葉キャンパス - 大学院担当) TEL.043-265-9803

Q 奨学金の手続きを入学前に行うことは可能ですか？

A 本学の奨学金制度（予定型給付奨学生）を除いて、入学してからの手続きになります。また、いずれにしても出願して試験を受けていただき、合格の可否ののち、入学手続きと入学金・前期授業料を含むその他の学費は納入していただきます。

Q 学部卒業後にすぐ進学する方と、卒業して数年以上経った方とどちらが多いですか？

A 社会福祉専攻では、学部を卒業して数年経った方も多数在籍します。心理学専攻は、学部を卒業後すぐに進学された方が中心です。



Q 現在、福祉の仕事に携わっていますが、大学は異分野の専攻でした。授業について行くことはできますか？

A 異分野の出身者も多く在籍しています。明確な目標を持って入学されれば、授業を理解することも可能です。また、同じキャンパス内で学部の授業を聴講することも可能です。

Q 仕事の都合で、時間通りに履修ができない場合は、調整が可能ですか？

A 社会人の大学院生に関しては、講義時間の変更など科目によっては担当教員とフレキシブルに対応しています。入学して履修後に教員にご相談ください。

Q 専門学校、短期大学、3年制大学の卒業でも出願資格がありますか？

A 入試を受ける前の事前審査があります。書類審査などにより大学卒業と同等以上の学力がある認められれば、受験することも可能です。ぜひご相談ください。

淑徳大学大学院をサポートする研究センター

本学、千葉キャンパス内には教員や大学院生の研究をサポートする2つの「研究センター」が設置されています。福祉の研究は実践を伴うため、それぞれのセンターでは、相談・療育・カウンセリングを行っており、院生の研究には欠かせないものとなっています。

発達臨床研究センター

淑徳大学発達臨床研究センターは、発達に遅れや気がかりを示す幼児ならびに小学生を対象とした療育・相談機関です。淑徳大学の開学と同時にスタートした研究機関であり、1972年から子どもの発達臨床にかかわる臨床理論・方法論・教材論の確立と発展に取り組んできました。実践は「感覚と運動の高次化理論」を柱に組み立てられ、知的発達や対人関係のつまずきに対してトータルな発達支援を目指すものとなっています。



大学院社会福祉学専攻における「療育実践実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、心理学専攻における「心理実践実

習Ⅰ・Ⅱ」では、当センターの臨床場面の陪席、観察が可能です。また専属スタッフの指導のもと担当ケースを持ち、アセスメントと見立て、臨床計画の立案と実施等、専門職に求められる高度な臨床技術を身につけることができます。実践だけではなく、ケースカンファレンスや主催セミナーを通して、幅広く発達臨床的視点での対象者理解を学ぶ機会もあります。

習Ⅰ・Ⅱ」では、当センターの臨床場面の陪席、観察が可能です。また専属スタッフの指導のもと担当ケースを持ち、アセスメントと見立て、臨床計画の立案と実施等、専門職に求められる高度な臨床技術を身につけることができます。実践だけではなく、ケースカンファレンスや主催セミナーを通して、幅広く発達臨床的視点での対象者理解を学ぶ機会もあります。



心理臨床センター

大学院附属の「心理臨床センター」（以下、センター）は、地域のメンタルヘルスへの貢献を目指す、公認心理師・臨床心理士課程の学内実習施設です。直接の申し込みだけでなく、地域の医療・教育機関等からの紹介も多くあり、千葉市からの委託を受けて、グリーフケアに関する支援も行っています。

センターでは外部からの心理的な問題に関する相談を受けており、資格を持ったスタッフと臨床心理学領域の大学院生および修士がカウンセリングや心理検査の担当を行います。

大学院に進学後は、このセンターにおいて、心理専門職を目指したトレーニングを行い、クライアントさんとお会いすることに



千葉キャンパス内に設置される心理臨床センター

なります。面接を担当する場合のスーパービジョンやカンファレンスについてもセンターを通じて行います。大学院修了後は、研修生としてケースを担当することが可能です。

センターには大小さまざまな面接室、プレイルームが設置されており、心理検査や書籍等も充実しているため、授業や実習の合間に自分で検査等の練習を行うこともできます。

実習施設としてだけでなく、修了後の研修機関として、公開講座や事例検討会も開催しています。



相談室



プレイルーム

学費について：1年分の授業料（2024年度入学生）

研究科・専攻		入学金	授業料	施設維持費	小計	その他 ^{※1}	合計
社会福祉専攻 博士前期課程	本学卒業生	—	700,000	100,000	800,000	24,950	824,950
	他大学卒業生	200,000	700,000	100,000	800,000	59,950	1,059,950
心理学専攻 修士課程	本学卒業生	—	800,000	100,000	900,000	24,950	924,950
	他大学卒業生	200,000	800,000	100,000	900,000	59,950	1,159,950
社会福祉専攻 博士後期課程	本学卒業生	—	700,000	100,000	800,000	26,150	826,150
	他大学卒業生	200,000	700,000	100,000	800,000	61,150	1,061,150

※1 その他の項目は、傷害保険、協賛会入会費、協賛年会費、同窓会入会金が含まれます。

※2 3年間履修コースは2年分の授業料を3年間で分割して納付いただけます。

奨学金について

奨学金制度（本学）

【入学後に募集】

- 特別給付奨学金 授業料相当額の給付
- 一般給付奨学金 授業料の1/2若しくは1/4給付
- 留学生給付奨学金 給付額は、特別・一般給付奨学金と同額
- 貸与奨学金 授業料の1/2を限度に貸与
(貸与奨学金は修了後、10年間で償還・無利息)

【入学前に募集・内定】

- 予約型給付奨学生
 1. 博士前期・修士課程の入試・選考試験の受験者から1～4名(採用予定)
 2. 給付額…授業料相当額又は1/2を原則として2年間給付

※対象者・選考方法等の詳細は、予約型給付奨学生募集要項による

奨学金・研究助成団体（外部資金）

■ 日本学生支援機構奨学金（第1種無利息・第2種有利子）

■ 都道府県、区市町村、民間奨学団体等からの奨学金

■ 学術研究助成団体等からの研究費

※奨学金や学術助成団体からの応募勧奨やその支援

学術研究活動の振興と助成

・学術研究活動の振興を企図し、学位（修士・博士）論文作成の支援「研究助成制度」の他、論文の投稿や発表（公開）支援に取り組んでいます。

研究助成制度（本学）

- ・ 院生研究費助成（博士後期課程の学生対象）
50万円を上限（年額・在籍中3回）とする研究・調査経費補助
- ・ 学会発表の研究助成（前期・修士課程の学生対象）
10万円を上限（年額）とする学会発表のための参加費・旅費の補助

学術成果の発表機会の提供、研究資料の充実・整備等

- ・ 研究科研究紀要、心理臨床研究、社会福祉研究所紀要など本学及び学外学会（学術研究団体）への論文投稿、発表会の開催
- ・ 研究資料の整備・充実（院生共同研究室への別置資料）
- ・ 共同研究室の情報・研究設備の整備、コピーカード配布など

淑徳大学 大学院 総合福祉研究科

〒260-8701 千葉県千葉市中央区大蔵寺町200

<https://www.shukutoku.ac.jp/academics/din-sougou/>



◀ 試験日程に関する情報はこちら

千葉キャンパス アクセスマップ

